

留学年発表会

ケイトバムハワ

こんにちは！

どうやって始めればいいのかよくわからなかったです。今年ことしの留学がどこへ行くのか、誰だれにもわからなかったのではないですよ。到着とうちゃくした時は台風たいふうと暑さはなだけひとりぐらが心配はなだったのを覚えています。両親を離れて一人暮らしをするのは初めてだったので、新しいことけいけんを経験きかいする機会が多く、最初の1ヶ月はできる限りのことをしたのを覚えています。

つかねんかん 疲れていることが多かったです。でも、日本での1年間はとても短いので、このねんかんさいだいげん 1年間を最大限つづに使わなければならないと思いつづけていました。では、私はこのねんかんぐたいてき 1年間、具体的に何をしてきたのでしょうか？

すく 少なくとも、オタクとしてやりたいことはたくさんできました。私が特撮オタクであることは誰だれもが知っていることですが、イギリスで特撮を楽しむことは本当に難しいので、たくさんのイベントがある日本に来たことは夢のようなことでした。好きな俳優さんにも会えたり、新しい友達もできたり、かっこいいイベントも楽しめたり、本当に良かったと思つて、一生いっしょうわす忘れないようにします。

でも、イベントだけじゃなくて、一緒にいた人たちも大切ひとねんです。この一年でたくさんであの人に出会えてよかったです。私は他の国について、他の文化について、たくさんちようせんの事を学びました。外に出て、新しいことに挑戦したり、新しい場所を探索たんさくしたりすることが、私は大好きでした。

お茶の水女子大学での時間も大切でした。初めての留学生だったのですが、せんせいがた 先生方は優しくて歓迎してくれました。授業も面白くて、授業を受けるたびに日本語じしんに自信がついていきました。来たときはほとんどしゃべれなかったのですが、この授業で得た自信え たじしんは、私の宝物たからものようです。

もちろん、大人になって自信がついたこともあると思います。私は今年26歳にな
ことし
りましたが、特に LGBT の人として、常に自分を見つけようとしていると思います。
つねに
行ったクラブやコンサートでは、思い切った格好をして、そこにいる人たちに受け
おもいきったかっこう
入れられて、自分に自信が持てるようになりました。今回の発表ではパーティーの
こんかい
話はしない方がいいかもしれませんが、日本の夜の生活文化は本当にユニークで忘
れられないものでした。

私が経験した文化的なことも忘れられません。趣味がたくさんあると、日本は本
けしき ふれる
当にいいところだと思います。新しい景色や自然に触れることができたり、様々な
てんじかい じょうねつ
展示会やパフォーマンスがあったりして、自分の趣味への情熱を忘れないように
かんしゃ
してくれたことに感謝するようになりました。

最後に大山の写真で締めくくりたかったです。第二の家になっていて、帰ってき
しめ だいに
た時にはとても寂しくなると思います。賑やかな時は自転車が通りを迷惑だったけ
さびしく にぎ とおり
ど、ここにいたからこそ、留学生活が充実したものになったと思います。寮が雪
じゅうじつ
におおわれ ひざ そら しのびよる
に覆われていたり、雨に覆われていたり、夏の日差も見てきました。空に忍び寄る
つき よあ いみ
月や夜明けを見るために起きていたこともあります。いろんな意味で、自分が住ん
ひかく
でいるイギリスのことを考えてしまい、比較せずにはられません。将来、いつか
じっかん
戻ってきて、こんなにも変わってだと実感できたらいいなと思います。

皆さん、素晴らしい留学年をありがとうございました。みんなの無事な未来と、
ぶじ
いつかまたみんなに会える日が来ることを祈っています。
いのって

